安全データシート

Copyright,2021, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-3730-8	**版**	2.02
発行日	2021/02/07	**前発行日**	2019/11/21

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
3M Scotch-Weld (TM) 二液混合型マルチ接着剤 DP8810NS Green Part B

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分２Ａ
皮膚感作性物質： 区分１
生殖毒性：区分１
水生環境有害性 （急性）： 区分３
水生環境有害性 （長期間）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
感嘆符　健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後は、手指をよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ）。

保管

P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	25 - 45
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	< 20
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	10 - 20
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	< 20
フィラー	営業秘密	< 20
ビスフェノール A ポリエチレングリコ	41637-38-1	< 10

ールジエーテルジメチルアクリレートポリマー		
ポリオキシ（メチルー１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチルー1－オキソー２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	95175-93-2	＜ 3.0
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	＜ 1.0
ナフテン酸銅	1338-02-9	＜ 0.1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域より退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後は手指をよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　指定された個人保護具を使用する。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　強塩基から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。　アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
銅化合物	1338-02-9	ACGIH	TWA(Cuヒュームとして):0.2 mg/m3;TWA(Cuダストないしミストとして):1 mg/m3	
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	AIHA	TWA:2 mg/m3(0.5 ppm)	

フィラー	営業秘密	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 2 mg/m3	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
フィラー	営業秘密	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m3	100%と仮定して計算
フィラー	営業秘密	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質: 樹脂ラミネート。

予期せぬ接触に備えて手袋を使用する。手袋に付着した場合には直ちに手袋を廃棄し、新しいものと交換する。
推奨される手袋の材質 : ニトリルゴム

呼吸用保護具

ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。
有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト

色	白色
臭い	アクリレート
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない。*
融点・凝固点	*適用しない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=37.8 °C
引火点	> 93.3 °C ［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
蒸気密度/相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.13 g/ml
比重	1.13 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
粘度/動粘度	100,000 - 125,000 mPa-s
揮発性有機化合物	
揮発分	
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	4.8 g/l ［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	612 g/l ［*詳細：*供給された状態］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	0.5 % ［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
モル重量	*適用しない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。

火花ないし炎

混触危険物質
アミン類
強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物
物質 **条件**
知見はない。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合
眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデ

ータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 4,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ヒドロキシエチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
イソボルニルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フィラー	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
フィラー	経口摂取	ヒト	LD50 > 15,000 mg/kg
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート ポリマー	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート ポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 35,000 mg/kg
ポリオキシ（メチルー１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチル－1－オキソ－２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリオキシ（メチルー１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチル－1－オキソ－２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルアルコール	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 3.1 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ナフテン酸銅	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
ナフテン酸銅	経口摂取	類似化合物	LD50 >300, < 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	専門家による判断	刺激性なし
イソボルニルメタクリレート	ウサギ	軽度の刺激
フィラー	専門家による判断	刺激性なし
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート ポリマー	ウサギ	わずかな刺激
ポリオキシ（メチルー１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチル－1－オキソ－２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	非該当	刺激物
テトラヒドロフルフリルアルコール	ウサギ	刺激性なし

ナフテン酸銅	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	専門家による判断	刺激性なし
イソボルニルメタクリレート	ウサギ	軽度の刺激
フィラー	専門家による判断	刺激性なし
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	ウサギ	刺激性なし
ポリオキシ（メチル－１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチル－1－オキソ－２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	非該当	腐食性
テトラヒドロフルフリルアルコール	ウサギ	激しい刺激
ナフテン酸銅	In vitro data	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	In vitro data	感作性あり
ヒドロキシエチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
イソボルニルメタクリレート	モルモット	区分されない。
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	モルモット	区分されない。
テトラヒドロフルフリルアルコール	マウス	区分されない。
ナフテン酸銅	モルモット	区分されない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	In vitro	変異原性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	In vitro	変異原性なし
テトラヒドロフルフリルアルコール	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
フィラー	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	授乳期早期交配
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	授乳期早期交配
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	49 日
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 50 mg/kg/day	授乳期早期交配
テトラヒドロフルフリルアルコール	皮膚	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	13 週
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	47 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 50 mg/kg/day	授乳期早期交配

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ポリオキシ（メチル－１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチル－1－オキソ－２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	造血器系 | 神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	29 日
フィラー	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL データなし	職業性被ばく
フィラー	吸入した場合	肺線維症	区分されない。	ラット	NOAEL 非該当	
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.2 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	眼	区分されない。	ラット	NOAEL 2.1 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 69 mg/kg/day	91 日

テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	28 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	内分泌系 | 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	28 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	肝臓 | 眼	区分されない。	ラット	NOAEL 781 mg/kg/day	91 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	心臓 | 神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	28 日

吸引性呼吸器有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生毒性（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性（長期間）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	34.7 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度 10%	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	37.2 mg/l
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
フィラー	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>1,100 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l

ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	2.3 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.1 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	1.8 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度 10%	0.751 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.233 mg/l
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	41637-38-1	液状化	推定値	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	41637-38-1	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	41637-38-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート　ポリマー	41637-38-1	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	致死レベル　50%	>100 mg/l
ポリオキシ（メチル－１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチル－1－オキソ－２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	95175-93-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>100 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.629 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.0756 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	0.0702 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	藻類または他の水生植物	推定値	時間	NOEC	0.132 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	32 日	有効濃度 10%	0.0354 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.0756 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル

テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	75 % BOD/ThBOD	OECD 301F
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	データ不足			N/A	
フィラー	営業秘密	データ不足			N/A	
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	95 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI(1)
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	推定値 光分解		光分解半減期（空気中）	1.12 日 (t 1/2)	非標準的な手法
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70 重量%	OECD 310 CO2 Headspace
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート ポリマー	41637-38-1	実験 生分解性	28 日	%	24 %	非標準的な手法
ポリオキシ（メチルー１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチルー1－オキソー２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	95175-93-2	データ不足			N/A	
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	92 重量%	OECD 301C-MITI(1)
ナフテン酸銅	1338-02-9	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	3.42	推定値：生態濃縮係数
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
フィラー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.42	非標準的な手法
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	39	推定値：生態濃縮係数
ビスフェノール A ポリエチレングリコールジエーテルジメチルアクリレート ポリマー	41637-38-1	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	6.6	非標準的な手法
ポリオキシ（メチルー１，２－エタンジイル），．ａ．－（２－メチルー1－オキソー２－プロペニル）－．ｗ．－（ホスホノオキシ）－	95175-93-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.11	非標準的な手法
ナフテン酸銅	1338-02-9	推定値 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	≤27	OECD 305E- 生態濃縮 魚類

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
消防法：第四類第三石油類

主な法規制物質

	法規名		
成分	**安衛法（表示・通知）**	**化管法**	**毒劇法**
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

16. その他の情報

改訂情報
セクション２：注意書き - 安全対策 情報修正.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション３：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の追加.
セクション４：毒性学的影響情報 情報の削除.
セクション５：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：ナノパーティクル 情報の追加.
セクション９：揮発分 情報の追加.
セクション９：追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション９：追加性状に関する記載 情報の削除.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加.
セクション９：蒸気密度の値 情報の削除.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション９：粘度 情報の追加.

セクション９：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション９：揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション１１：健康影響情報（眼） 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。